

岐阜県内中小企業の景況動向
中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)の情報連絡票から
平成30年10月末調査(前年同月比)
岐阜県中小企業団体中央会

〔Ⅰ〕10月の特色

- ◆ 景況感D I 値マイナス21 ～前月比6ポイントの改善～
- ◆ 雇用人員D I 値を除く全主要調査項目D I 値が改善
- ◆ 人手不足による悪影響と労働力の確保に苦慮

〔Ⅱ〕10月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、好転1、悪化22で、D I 値はマイナス21となり、前月のD I 値マイナス27に対し、6ポイントの改善となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、製造業のD I 値はマイナス22となり、前月比で6ポイントの改善、非製造業のD I 値はマイナス21となり、前月比で5ポイントの改善となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前年同月比で景況感が「好転」と回答した業種は、電設資材卸の1業種(前月比±0業種)。

また、「悪化」と回答した業種は16業種(前月比-4業種)となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高D I 値はマイナス14で前月比9ポイントの改善、販売価格D I 値は2で前月比8ポイントの改善、収益状況D I 値はマイナス30で前月比5ポイントの改善、資金繰りD I 値はマイナス9で前月比4ポイントの改善、雇用人員D I 値はマイナス6で前月比3ポイントの悪化となった。

コメントを見ると、製造業では、「2012年度11月からの輸出面における日本経済の回復基調の中で、為替の安定と米国の景気動向に支えられ、刃物の輸出はヨーロッパを含め概ね順調に推移している。(金属製品(輸出))」、「設備を増強して生産を上げる方向に向いている状態である。世界情勢の不安要素は有るがしばらくはこの状態が続くと思われる。(メッキ)」などプラスの内容が報告された一方で、「天候要因が影響し売上高が低迷している。秋物の消費も悪化し、冬物への影響も懸念している。また、デフレの影響もあるかと考えられる。(婦人子供服)」などマイナスの内容が報告された。

非製造業では、「企業の事務所・工場などの新築やリニューアルを始めとする設備投資が増加している。(電設資材)」などプラスの内容が報告された一方で、「需要期に入っても好況感はない。売上高は、2年前・3年前と比較するとそれぞれ93.6%・88.9%となることから厳しい状況であることが見て取れる。(陶磁器卸)」などマイナスの内容が報告された。

また、「下請け事業所の減少や人手不足から増産が難しく、成約が困難なケースも生じている。(金属製品(輸出))」、「ドライバー不足のために受注できない案件数が増加している。(貨物運送(岐阜地区))」、「人材については、中途採用で日本人、外国人を問わず増やしているが、定着率が良くない。(鋳物)」など労働力の確保に苦慮する内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加18、減少32でD I値はマイナス14となり、前月のマイナス23に対し、9ポイントの改善となった。

売上高が増加した業種は13業種（前月比+4業種）あり、縫製（既製服）、銘木、東濃ひのき、機械すき和紙、砂利生産、砕石生産、メッキ、可児工業団地、電設資材卸、機械・工具販売、青果販売、生花販売、広告美術である。

売上高が減少した業種は23業種（前月比-2業種）あり、特にサービス業・建設業の区分が多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇12、低下10でD I値は2となり、前月のマイナス6に対し、8ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は9業種（前月比+3業種）あり、毛織物、縫製（既製服）、銘木、東濃ひのき、特殊紙、青果販売、石油製品販売、生花販売、貨物運送（県域）である。

販売価格が低下した業種は7業種（前月比-3業種）あり、特に商店街の区分が多かった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転5、悪化35でD I値はマイナス30となり、前月のマイナス35に対し、5ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は4業種（前月比±0業種）あり、縫製（既製服）、銘木、メッキ、広告美術である。

収益状況が悪化した業種は25業種（前月比-3業種）あり、特に窯業・土石、卸売業、商店街、サービス業、運輸業の区分が多かった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転1、悪化10でD I値はマイナス9となり、前月のマイナス13に対し、4ポイントの改善となった。

資金繰りが好転した業種は1業種（前月比±0業種）あり、可児工業団地である。

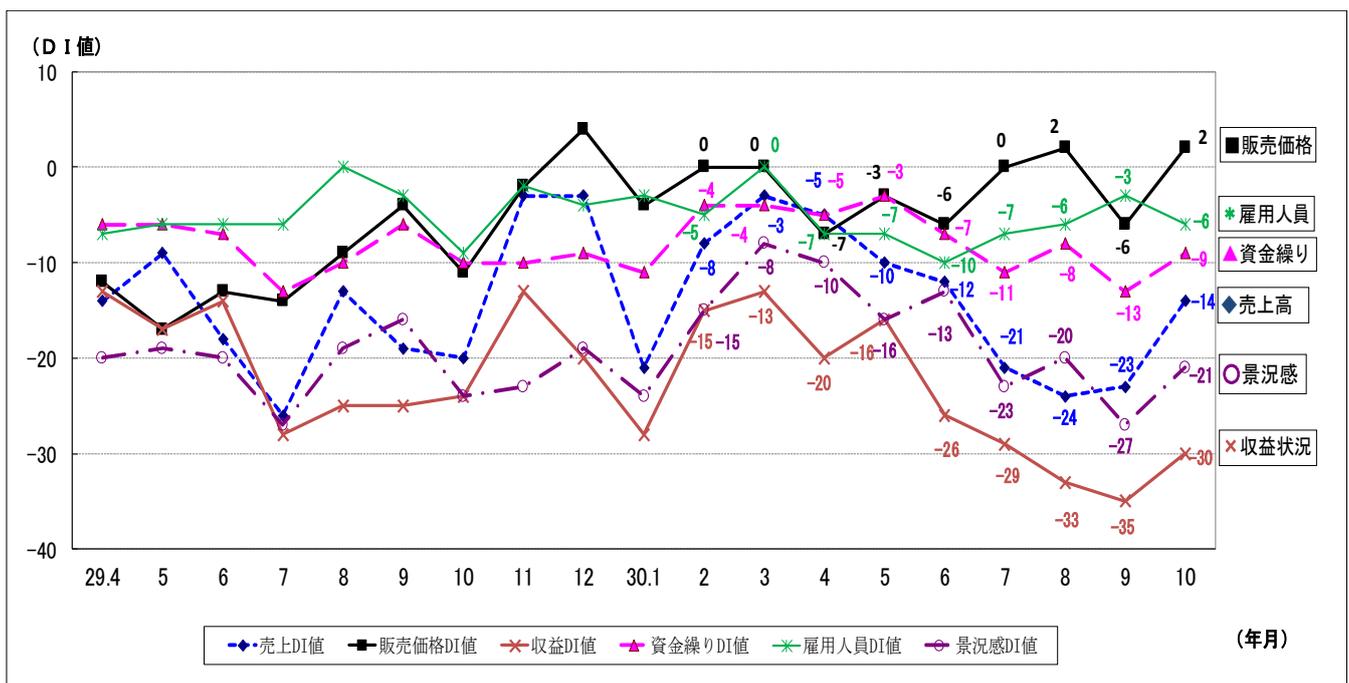
資金繰りが悪化した業種は7業種（前月比-3業種）であった。

雇用人員の動向は、前年同月比で好転4、悪化10でD I値はマイナス6となり、前月のマイナス3に対し、3ポイントの悪化となった。

雇用人員が増加した業種は3業種（前月比-1業種）あり、縫製（既製服）、鋳物、可児工業団地である。

雇用人員が減少した業種は7業種（前月比+1業種）であった。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、雇用人員、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



〔Ⅲ〕業種別(製造業・非製造業) 動向 (10月末調査)

1. 製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	△	△	△	△	△	△
	食肉(国産)	△	△	△	△	△	△
	菓子	▲	△	▲	△	△	▲
	米菓	△	△	△	△	△	△
	製麺	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	撚糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業	△	△	△	△	△	△
	毛織物	△	○	△	△	△	△
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	▲	△	△	△	△	△
	婦人・子供服	△	△	▲	△	△	▲
	縫製(既製服)	○	○	○	△	○	△
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△
	銘木	○	○	○	△	△	△
	家具	△	△	▲	△	△	△
	東濃ひのき	○	○	△	△	△	△
紙・紙加工品	機械すき和紙	○	△	△	△	▲	▲
	特殊紙	▲	○	▲	▲	△	▲
	紙加工品	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
印刷	印刷	△	△	▲	▲	△	△
化学ゴム	プラスチック	△	△	▲	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	△	△	▲	▲	△	▲
	タイル	▲	△	▲	△	△	▲
	窯業原料	▲	△	▲	△	△	△
	石灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
	砂利生産	○	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砕石生産	○	△	△	△	△	△
	鋳物	▲	△	△	△	○	▲
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△
一般機械	メッキ	○	△	○	△	△	△
	県金属工業団地	▲	△	△	△	△	△
	可児工業団地	○	△	△	○	○	△
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	△
	輸送用機器	△	△	▲	△	△	△

凡例
 ○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

2. 非製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	○	△	△	△	△	○
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	△	△	▲
	機械・工具販売	○	▲	▲	△	△	△
小売業	青果販売	○	○	△	△	△	△
	水産物商業	▲	△	▲	△	△	▲
	家電機器販売	△	△	△	△	△	△
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	△	▲	△	△	▲	△
	石油製品販売	▲	○	△	△	▲	△
	共同店舗(飛騨)	▲	△	△	△	△	△
	生花販売	○	○	△	△	▲	△
商店街	商店街(岐阜)	▲	▲	▲	△	△	▲
	商店街(大垣)	△	▲	▲	△	▲	▲
	商店街(高山)	△	△	△	△	△	△
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲
	長良川畔旅館	△	△	▲	▲	△	△
	下呂温泉旅館	▲	△	▲	▲	△	▲
	高山旅館	▲	△	▲	△	△	▲

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
サービス業	クリーニング	△	△	▲	△	△	△
	広告美術	○	△	○	△	△	△
	旅行業	▲	△	▲	△	△	△
	理容・美容業	▲	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	▲	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	▲	△	△	△	△	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄構造物	△	△	△	△	△	△
	電気工事	▲	△	△	△	▲	△
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	△	△	△	△	△	△
	室内装飾	△	△	△	△	△	△
運輸業	貨物運送(県域)	△	○	▲	△	▲	△
	軽運送	▲	△	▲	△	△	△
	その他の非製造業	貸植木業	△	▲	△	▲	△

凡例

- ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
- △ ⇒ [不変]
- ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]